

2022 年度（令和 4 年度）

外部評価結果

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のユニットカンファレンスで理念実践についての反省会を行い地域に受け入れられる施設であり続けるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の清掃や防災訓練は入居者様と参加できているが、コロナ以降行事が中止されているので交流は少なくなっている。	近くの公園等のお掃除等があれば積極的に参加するのも良いかと思う。10日と20日挨拶運動がある。毎回でなくても参加することと地域との付き合いになると思う。また散歩に小学生等の下校時間に当たるため、見守りをするのもいいのではないか。にこやかハウスの周辺の掃除を行うことで、近所の方と挨拶が出来たりもしている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回の開催をしているがコロナで2回中止になった。事故報告などににこやかハウスの取り組みについて報告し情報交換など行っている。	運営推進会議で頂いた意見を参考に町内会長様にも会議への参加の声掛けを行ったり、包括支援センターへも出席の依頼の連絡してくれているのでよくやっていると思う。にこやかハウスで起きたことを運営推進会議でお話し、意見交換を行っているのでただ大変な時だけ助けてもらいたいという姿勢ではないので良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の開催のお知らせをと前回の報告書を持参している。市の担当者には疑問点など連絡相談をさせて頂いている。	介護保険課にも運営推進会議への参加の依頼、報告等を随時行っている。運営推進会議や、その他で何か質問があれば、介護保険課へ相談もさせて頂いている。地域包括センターの担当者様とも密に連絡を取らせて頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束0宣言を行っている。居室の施錠をせずフロアを開放している。年に4回身体拘束適正化委員会を開催し、職員の研修も年2回行った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する委員化は立ち上げてあり、定期的に他施設で起こった事例について検討し研修会も1回行った。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は利用されている入居者様もいらしたが、現在はなし。ご家族様から相談があった場合には、相談できる体制を整えている。年に1度全体研修にて勉強会を行っている。また資料をそろえている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居相談の時点で入居後の施設での不安点、疑問点について丁寧に説明しお答えしている。同意が得られてから契約を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降家族会は行っていないがアンケートを作成しご意見ご要望にお応えできるよう努めている。電話やラインでご家族様のご意見を聞いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のユニットカンファ、年2回の面談で職員の意見や提案を聞き全体で話し合いを行っている。管理者は現場にも入っているため相談や意見を聞ける体制をとっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい職場にするために勤務状況の確認、環境、条件等定期的に面談を行い本部に報告している。急な事情などにも相談にのり対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は会社内で行う実務者研修、新人研修、社外で行う初任者研修などに積極的に参加できるよう機会を設けてくれている。また、月に1回のオンライン研修を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長田地区密着会議や地区の勉強会などを情報共有の場として活用していたがコロナ以降行っていない。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様と一緒に食事の支度、洗濯干し、たたみ、掃除等楽しみながら行い、日常的に暮らしを共にしている雰囲気大切にしている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為限られた面会しか行えないが、日常の会話の中で常にご本人様が親しんできたことや物について話す様に努めている。	入居時にご家族様やご本人様から頂いた情報をもとに、また入居者様がこやかハウスで生活し職員が知ることができた情報をもとに、好きだったこと、昔のこと等を会話の中で尋ねたりしている。昔から行っていた事(仏壇のお供え、手芸等)の継続をできるように支援することができている。昔の写真かるたや、ことわざかるた等ももともとに懐かしい話などもしている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式 B2,B3 を用いてご家族、ご本人より記入若しくは聞き取りを行い、思いをくみ取る様に努力し現在の生活に反映できるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケースカンファレンスで日々の生活の中から入居者様が何を望まれているかを話し合い、ケアプランを作成している。その中にご家族様の意向や思いも組み入れている。	ご本人様のご要望、ご家族様のご要望をなるべくお聞きし、ケースカンファレンスを行い、その方のあったプランを作成、実践、評価を行い、また見直しもできている。都度、状況が変化した時にはご家族様と情報共有できている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の経過記録に変化や気づきを申し送り、職員間で共有している。またそのことについてカンファレンスで話し合い介護計画などの見直しをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人や家族の意向に柔軟に対応している。ご本人の状態にあった役割や体操を取り入れている。コロナの状況を見ながら個々に買い物にも行っている。	医療保険を利用したサービスを使用し、末期がんの入居者様のお看取りを行った。GHだから医療は全くできないではなく、ご本人、ご家族様の意思を確認しながら介護を行うなどしている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グリーンバンクを利用している。コロナの状態を見ながらコンビニエンスストアや公園、土手に出かけている。	必要に応じて権利擁護、成年後見人の資料の提供、ボランティアの受け入れ等を行うようにしているがコロナ禍のため、介護相談員やボランティアの受け入れはまだ困難な状態になっている。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望により主治医を決めている。往診医とは24時間連絡がつく様になっている。緊急時や体調不良時にはいつでも診察できる環境を整えている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時や受診時は出来る限り付き添い情報共有している。また、付き添い時には名刺をお渡しし電話等の対応もしている。退院時はアセスメントに出かけ今後の生活について医師や看護師と話し合いをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化については入居契約の時にまず話をさせて頂いている。重度化した時にはこれからの生活についてご本人、ご家族、医師、看護師と共に方針を情報共有している。自宅に1度は帰りたいというご要望などにも応えられるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故発生時、緊急時マニュアルを整備している。研修でも行っている。緊急時に実際にあったことは申し送りで伝えている。緊急時は主治医の指示に従っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご近所の方々、大家さんには協力依頼をしている。年に2回は防災訓練を行っている。外に避難する訓練、垂直移動訓練を行っている。	町内会長に挨拶に行き、町内会、丸子カフェもきちんと見る。真野様、山西様に聞いてもよい。小さい枠の中をしっかりと整備していく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉かけには常に気を付けている。カンファレンスでも言葉遣いの研修を行っている。また、排泄時や入浴時にはプライバシーに配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課は決まっているが、季節を感じて頂くために長距離の散歩で時期のお花を見に行ったり、園芸を行ったり、手作りおやつを作ったりそれぞれのご希望に添えるようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る方には一緒に切ったり洗ったり炒めたり行って頂いている。洗いや食器拭きも一緒に行っている。月に1回セレクトメニューで好きなものを選んで頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量は体質や体格に合わせて医師と相談し決めている。食事は栄養士が監修したメニューを職員が作り提供している。食事量、水分量共にデータ管理で記録を残している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。自分で出来るところまで行って頂き最終仕上げを職員が行っている。夜間は義歯をポリドントにつけている。歯科往診をされている方は歯科医の指示に従っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの排泄パターンをつかみその方にあつた時間で対応しています。テープ止めは極力使用せずトイレに座る支援をしています。便秘予防の朝に冷たい牛乳を提供し便秘予防の体操も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	15:00~16:45 まで時間を作り、ご本人のご希望に沿った温度で入浴して頂き入浴剤も使用し入浴を楽しめる様支援しています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間、不眠の方には散歩などで日中の活動量のアップを図っている。体調に応じ臥床や休息の時間を設けている。夕食後からクールダウンの時間とし朗読会を行い、落ち着いた音楽を流してリラックスしたから就寝できる様過ごしていただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診には薬剤師が立ち合いお薬の変更時にはご本人、ご家族に情報をお伝えしている。職員は薬剤情報を確認して内服して頂いている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体操の声掛けや食器拭き等得意なことを役割として行って頂き張り合いを感じて頂ける様なお声掛けをしている。テイクアウトのメニューも好みものを選んで頂き、気分転換に季節を感じて頂けるお散歩をしている。	体操や散歩を行ったりしている。テイクアウトも行えていて良い。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により実行は出来なかった。今後コロナが収まれば買い物や自宅外出、食事外出などを以前の様に行う予定です。現在は近隣のお散歩のみ行っています。	コロナ過により、支援できていない。外出できるのは受診の時。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍になり買い物に出かけることは出来ずお財布の所持のみになっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があれば電話をかけたりやお手紙をだしたりの支援をしています。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内はバリアフリーになっています。出来る限り家庭に近い環境になる様にテレビやソファなどの配置をし、壁飾りや音や光窓からの風など心地よく過ごせるよう配慮しています。換気も1時間に1回以上行い、フロアの清掃は毎日行い1週間に1度はシーツの洗濯、布団干しを行っています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の発言の中からお本人の希望を伺いどうされたいかを確認してできる限り意向に沿えるよう支援しています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B2B3 の情報をもとにご本人に会った支援をカンファレンスなどで話し合いご提供できるように支援しています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に2回主治医の往診、週に1回看護師の健康観察を受けています。施設内の日常では職員が見守れる体制をとっています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の為概ねのスケジュールは決まっていますが、起床や就寝時間などご本人のこれまでの生活スタイルに合わせています。体調によっては日中に臥床時間、休息時間を設けるなどを行っています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本やCD、写真、仏壇などなじみのものを居室に持ち込まれています。洋服なども自分の好きなものを選んで着て頂いています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により外出や催事への参加などは行えませんでした。	散歩には行くことが出来ている。今年度はお祭りもできるので参加していく。(宿場祭り)春の地域の草取りに参加した。秋にも草取り、もしくは河川清掃があるので参加していく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B2B3、ご家族からの情報、ご本人様の発する言葉などを頼りに好きなこと、得意なことを探り施設での役割を決め行って頂いています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様が得意だったこと、好きだったことを生かし張り合いが持てる様に場面場面で行って頂ける様支援しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は地域の清掃や催しに参加できていましたが、コロナが収束すればまた参加します。	地域と交流していく。施設としても受け入れていく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭に近い環境で共同生活を送りできることはご自身で行い、散歩などでご近所の方や小学生と挨拶を交わすなどして地域に親しみを感じて頂いています。	地域の施設よりもこやかハウスの様子を聞かれたりし、地域交流をすることが出来ている。お互いの施設で日々助け合う体制が出来ている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

【事業所概要】

事業所番号	2294200395
法人名	有限会社 生陽会
事業所名	にこやかハウス
所在地	静岡県静岡市駿河区丸子6-5-18
自己評価作成日	2022.11.17 評価して頂いた方々 運営推進会議にて（民生委員会会長、社会福祉協議会会員、街づくり協議会副会長、地域包括 介護支援専門員、入居者様、ご家族様、管理者）

基本情報URL <https://www.ikiyo.co.jp/nikoyakahouse>

(参考様式4)

事業所名 にこやかハウス

作成日: 令和 4年 3月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	34	職員が入居者様の服用されているお薬について目的、用法容量、錠数などを理解したうえで服薬介助を行う。	入居者様の状態を把握し、服用されているお薬の効能、目的を理解し、症状の変化を観察できる様にする。	カンファレンスなどで薬の理解を深める。 3ヶ月
2	35	コロナ過で外出が出来ない中、日々の生活の中で張り合いや喜びを見つけ出し気分転換をして頂く。	入居者様の生活歴や現状を踏まえ楽しめることや張り合いを見つけ出す。	コロナ過でも行えることを提案し合い、それぞれの入居者様にあった楽しみや張り合いを見出す。 6ヶ月
34番についての自己評価 薬の事故については大事に至るものではありませんでしたが、服用されているお薬は往診で変わることも多いので、その都度、理解し様子観察が行え、間違えた与薬を行わない様に今後も注意していきます。(2022.11.17)				
35番についての自己評価 コロナ過で限られた方法ではありますが、毎月のおやつ作り、テイクアウト。また、敬老会やクリスマス会といった季節の行事も行え、少しでも楽しんで頂ける様に工夫出来たと思います。今年度も引き続きコロナ過においての楽しめることを考えていきたいと思っています。(2022.11.17)				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(参考様式4)

事業所名 にこやかハウス

作成日: 令和 4年 11月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	職員が入居者様の服用されているお薬について、理解し、服用されている目的と入居者様の状態まで理解できるようにする。服用の用法容量、錠数を確認し正しく行う。	入居者様の状態を把握し、服用されているお薬の効能、目的を理解したうえで状態の観察を行う。	お薬の名前、効能、錠数を理解する。	6ヶ月
2	35	コロナ過で限られた条件の中で、入居者様の楽しみや張り合いを見つけられるように話し合い工夫して行く。	毎月のおやつ作り、テイクアウト、セレクトメニューや季節の行事を楽しめる様に考えていく。	一つ一つの行事を大切にしっかりとしたプランを立て進めていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。